

今津青少年育成学区民会議（今津ひまわりクラブ）広報

日頃は、今津青少年育成学区民会議の事業に格別のご支援とご協力を賜りありがとうございます。

さて、今年度の事業も緩やかではありますが平常に戻りつつあり、体験活動や花いっぱいプロジェクトなど、ご協力いただきました関係各所、皆さまのおかげをもちまして、元気な子どもたちと共に体験活動を通じて楽しく交流することができました。

これからも引き続き、学区民の皆さまと一丸となって子どもたちを見守る様々な取り組みにご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

今津青少年育成学区民会議
会長 杉嶋郁夫

今年度、今津北小学校では、人権の花であるサルビアを栽培し、1年生から6年生のたてわり班で、水やり当番を決めたり咲いた花を工夫して絵に表したりしました。

満足気な子どもたちの笑顔を見ていると、大きく移り変わる時代にあっても、変わらないものがあってほしいと願うばかりです。

(H. E)

～子ども体験活動～

(令和5年8月26日実施)

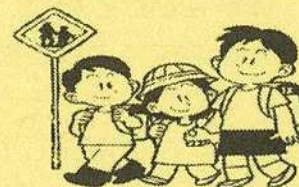


我が子はどんな姿で登下校していたのかと遠い昔に思いを馳せながら、地域のおばさんとして、あいさつ運動に参加できる幸せを実感しています。

コミュニケーションの第一歩は「あいさつ」からと言われるものの、思春期のあるあるも時に垣間見ながら、笑顔での声かけを心掛けいます。

これからも、地域でゆとりを糧に見守っていこうと思っています。

(K. O)



コロナ禍により休止していた子ども体験事業が、今年度より再開され8月には、親子で一緒に防災について学び、お菓子をポテトサラダにしたり、段ボールベッドを組み立てたりしました。災害シュミレーションゲーム「風水害24」を一緒に体験し防災について考えるきっかけになりました。11月はスライムやクリスマスリース、お菓子作り、紙工作を体験し、地域の方たちと子どもたちが交流を深めました。

今津地域の子どもたちをさまざまな活動を通して、地域みんなで支えていく取り組みを今後も進めていきたいと感じました。

(K. T)



「通学路のこどもたち」

「おはよう」と呼びかける声に元気な声が返ってきます。勿論みんながみんなの”こだま”は響いてきません。朝夕の「あいさつ」ができる大人になってほしいと願いつつ、今や少数精鋭となったこどもたちの成長を見守り、理不尽な事が多い現代社会を担う未来のリーダーたちにこれからもエールを送ります。
(Y. U)

高島市青少年育成市民会議に参加しました。「私の思い 2023」と題して中学生の意見発表がありました。そこには、堂々と今を生きる子どもたちの叫びがありました。コロナ禍の不安な社会にのまれず、自分の価値観を育て、家族や友との繋がりを大切に、これからの未来へも目を向けた素晴らしい内容に引き込まれました。目標に向かう子どもたちを支援していきたいです。
(H. S)

柔軟な発想力、行動力、コミュニケーション能力、団結力。いつも子どもたちの力の大きさに驚かされます。私たち大人も以前は持っていたであろうこれらの力は、年を重ねるに従い、その柔軟さを失っていくでしょう。子どもたちは大人よりもずっと賢い。子どもたちは皆、天才です。～保育の現場より～

(T. M)

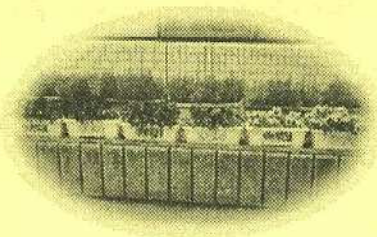
～子ども体験活動～

(令和5年11月25日実施)



(令和5年5月27日実施)

～花いっぱいプロジェクト活動～



(令和5年11月4日実施)

雪国 今津の子どもたち

今津という地域は、雪深くなるのが特徴である。毎年見かけるのは、除雪がされていない歩道を学校に向けて懸命に登校する小・中学生の姿である。そういった姿を見ると、私たち学校に関係している者は、改めて子どもたちのためにできることを精一杯やっていくことが必要であると胸に刻む必要がある。
(M. J)

令和5年5月8日よりコロナが5類感染症となり少しずつではありますが子どもたちの生活にも制限がなくなってきています。今まで制限があり色々な経験ができなかったことを、これから沢山経験できる機会が増えていくことを願うばかりです。高島市の子どもたちの笑顔があふれるよう見守ってまいります。
(R. H)

令和6年2月発行

今津青少年育成学区市民会議

(今津ひまわりクラブ)

事務局 今津公民館内

Tel 0740-22-2249

